

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるように!

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2009(平成21)年7月15日 第433号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭
発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1-2
保健会館 電話 03-3269-1131
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp
毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)

今月の主な紙面

(1面) ●第82回日本産業衛生学会
超高齢社会の産業保健戦略
●平成21年度理事会・評議員会を開催一本会

(2・3面(見開き))

- 連載 どう読む? 健康情報 第2回
- 話題 第52回日本糖尿病学会年次学術集会から
- 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
保健指導シリーズ 第15回: 医師/保健師/
管理栄養士/健康運動指導士のコラム

(4面) ●「新型インフルエンザ」で

- 第225回ヘルスケア研修会
- 第20回日本小児科医会総会フォーラムが開催
- 連載 保健会館クリニックの顔 第21回
- 予防医学事業中央会 全国運営会議が開催
- お知らせ

第82回 日本産業衛生学会 超高齢社会の産業保健戦略

高齢労働者の特性を生かし 生涯現役社会の実現を目指す

先ごろ公表された2009年版「高齢社会白書」によると、08年10月1日現在、65歳以上の高齢者が総人口に占める割合(高齢化率)は22.1%。高齢化率は今後も上昇を続け、55年には40.5%に達し、国民の2.5人に1人が65歳以上になると推定されており、このような状況に対応した社会体制の整備が急務となっている。こうした中、5月20日から22日の3日間わたって福岡県の福岡国際会議場で開催された第82回日本産業衛生学会(企画運営委員長 田中勇武産業医科大学教授)では、「超高齢社会を迎える日本 その産業保健戦略」をメインテーマに、多数のシンポジウムや講演が行われた。今回はメインテーマをタイトルに据えたメインシンポジウムの概要を紹介する。

生涯現役社会の実現を目指す

メインシンポジウムの冒頭、座長の神代雅晴産業医科大学教授(写真)は、「諸外国に例を見ない速さで高齢化の進むわが国において、今日の産業保健に求められている課題は、暦年齢を意識することなく働くことのできる雇用環境づくりと、そこから作り出される高い生産能力の確保である」として、今学会のメインテーマが企画された。



メインシンポジウムの冒頭、座長の神代雅晴産業医科大学教授(写真)は、「諸外国に例を見ない速さで高齢化の進むわが国において、今日の産業保健に求められている課題は、暦年齢を意識することなく働くことのできる雇用環境づくりと、そこから作り出される高い生産能力の確保である」として、今学会のメインテーマが企画された。

た背景について語った。最初に、産業保健の研究者としての立場から、奈良県立医科大学の車谷典男教授と、男爵となごや労働衛生コンサルタント事務所の山田琢之氏が講演した。

③作業編成や職場文化の職務能力の向上)が確認されている。それぞれの要因に働きかけることにより、生涯現役への選択が可能になるが、生涯現役は、こうした個人や企業の取り組みだけでなく、雇用制度や年金制度などもっと広い社会的基盤の中で考えられるべきものである。

続いて山田所長は、自らが産業医を務める企業などの調査結果を基に、「加齢による視覚・聴覚などの機能低下に対しては、人間工学的な考えを基にした作業管理や作業環境管理が必要である」として、照度などの環境改善、作業姿勢の改善、メモや小型ボイスレコーダーの活用、高齢労働者向けの健康診断項目などについて解説した。



メインシンポジウムでは活発な質疑応答が行われた

まで雇用機会を拡大するシニアスキル契約社員制度や、枯渇させはならない技能を次世代に伝承するためのマイスター制度などを導入したと述べた。

齋藤取締役は、高齢化対策として実施している複線型人働意欲を失わないことは日本社会の財産である」と述べ、高齢者が生き生きと働ける企業のあり方について、人材の多様性を活かした経営の観点から、企業側、従業員側、それぞれの課題を提起した。

また戸田理事長は、08年に示された政府の新雇用戦略

に触れて、「現在、高齢者の雇用対策として、①10年までに希望者全員が65歳まで働ける企業の割合を50%に、70歳まで働ける企業の割合を20%にする②中高年齢者の再就職の援助・促進のため、高齢者100万人の就業増を図る③多様な就業・社会参加の促進のため、シルバー人材センターの会員数を100万人にする④などの目標が掲げられ、雇用確保措置や募集・採用における年齢制限の禁止、高齢者雇用に伴う奨励金・給付金の支給などの法整備が進められている」と述べ、「12年には団塊の世代が65歳に達することから、人材不足、技能の途絶が懸念される。65歳以降も意欲を持って働き続けることのできる雇用機会の創出、就業条件・環境の整備が喫緊の課題である」と強調した。

学会ではこの他、「働くこと」の価値を健康効果や「超高齢社会を支える女性労働者の健康支援」などのシンポジウムも企画され、高齢社会に対応した産業保健のあり方について、さまざまな立場から、研究・実践報告や提案が行われた。

平成21年度理事会・評議員会を開催

一本会

東京都予防医学協会の平成21年度第1回理事会および第1回評議員会が6月25日、東京・市谷のルーテル市ヶ谷センターで開かれた。

理事会、評議員会に先立ち、本会理事長は、平成20年度の事業をほぼ予定通り達成できたことを報告。関係者の理解と協力に謝意を表し、次のように述べた。

「がん対策基本法の施行を背景に、本会もがん検診の拡充に力を注いできた。その結果、平成20年度は、乳がん検診、肺がん検診、胃がん検診などの受診者が増加した。

また、少子化等の影響により、近年減少傾向にあった学校検診も、本会の健診の精度や対応の良さが評価されて、昨年を上回る実績を上げた。現在、世界的な不況が進行している中、経済的に厳しい社会状況が予想されるが、役員は一致団結してこの難局を乗り越えたい。」

この後、理事会は北川理事長を議長に、評議員会は齋藤道是評議員を議長に選出し、平成20年度の事業報告と収支決算、次期理事・評議員選任について審議を行い、いずれも満場一致で承認された。

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江幡良晴 三輪祐一

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

お問い合わせ・
ご相談は事務局まで
(予約制)

送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。



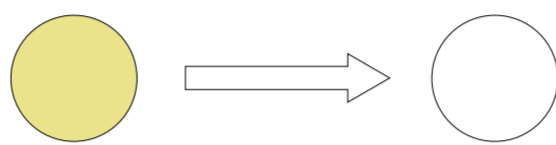
中山健夫
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
健康情報学分野教授

どう読む?
健康情報

健康・医療の情報 根拠に注意

健康情報を読んで、まず大切なことは、それをうのみにしないことです。そのため、その情報に根拠を注意して読む必要があります。

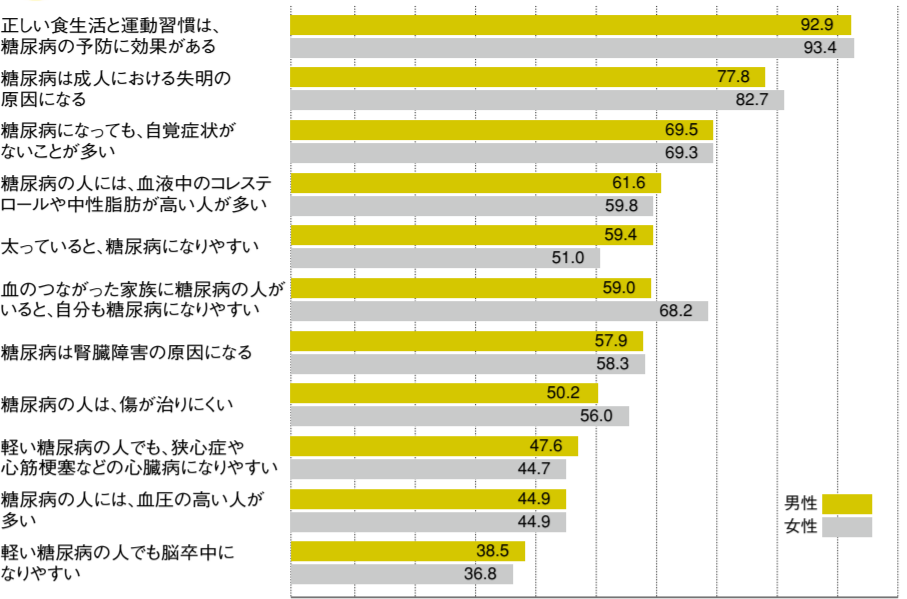
雨乞い「3た」論法



「祈った → 降った → だから効いた...」
「病気になるました → 薬を飲みました → よくなりました!」
「病気になるました → 薬を飲みませんでした → ???」

民間療法や健康食品では、〇〇が有効というわけですが、この話は「祈った!降った!」だか「雨乞い」が効いた!という「雨乞い」3た論法です。...

図 糖尿病に関する知識の状況 (「正しい」と答えた人の割合)



2008年12月に示された「平成19年国民健康・栄養調査」によると、糖尿病に関する知識の状況は、健康情報に関する知識の不足が顕著であることがわかった。

話題
特定健診開始1年を経過して
何が進展し、残された課題は?

特定健診開始1年を経過して、何が進展し、残された課題は? 本号では、特定健診の現状と課題について、関係者から話を聞いた。

健康運動指導士の
リラクゼーション

健康運動指導士のリラクゼーション。リラクゼーションは、心身の緊張を緩和し、ストレスを軽減する効果がある。

「百聞は一見にしかず」編
砂糖の含有量は? 砂糖の含有量は、食品のラベルに記載されている。消費者は、砂糖の含有量を確認して選ぶことが大切だ。

田代淑子
砂糖が思ったより多く驚いた。砂糖の含有量を確認するだけでなく、砂糖の摂取量もコントロールすることが大切だ。

田丸鞠子
2ヵ月で13kg減。減量には、食事と運動の両方を改善することが大切だ。健康的な減量を目指そう。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

健康運動指導士の
リラクゼーション
リラクゼーションは、心身の緊張を緩和し、ストレスを軽減する効果がある。

「百聞は一見にしかず」編
砂糖の含有量は? 砂糖の含有量は、食品のラベルに記載されている。消費者は、砂糖の含有量を確認して選ぶことが大切だ。

田代淑子
砂糖が思ったより多く驚いた。砂糖の含有量を確認するだけでなく、砂糖の摂取量もコントロールすることが大切だ。

田丸鞠子
2ヵ月で13kg減。減量には、食事と運動の両方を改善することが大切だ。健康的な減量を目指そう。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

保健師の
減量
減量には、食事と運動の両方を改善することが大切だ。健康的な減量を目指そう。

田丸鞠子
2ヵ月で13kg減。減量には、食事と運動の両方を改善することが大切だ。健康的な減量を目指そう。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

医師の
禁煙支援を
保健指導の柱に
禁煙支援は、健康増進の重要な柱の一つだ。医師は、禁煙支援に積極的に取り組むことが大切だ。

青山キヨミ
禁煙支援は、健康増進の重要な柱の一つだ。医師は、禁煙支援に積極的に取り組むことが大切だ。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

菅 栄 養 士 の コ ラ ム
4年前人間ドックの集団指導で減量のポイントを知った。減量は、生活習慣の改善から始めることが大切だ。

健康づくり・健康増進を支援するページ
保健指導シリーズ ⑮

アドバイザー 岡 惺 治
(健康管理コンサルタント)



第20回 日本小児科医会 総会フォーラムが開催

去る6月13日から14日の2日間、第20回日本小児科医会総会フォーラム(会頭 松平隆光東京小児科医会会長)が新宿のホテルで開催され、「子育てを助け、子どもたちに夢と未来を」と小児科医の独創性と質の向上を目指して「をテーマに、ワクチン、発達障害、新型インフルエンザ、禁煙などに関するシンポジウムや講演が行われた。

このうちテーマに最もふさわしい演題は、五十嵐隆東京大学大学院教授による卒後教育講演「子どもの尿からわかること」であった。

五十嵐教授は、慢性腎臓病(CKD)の概要について述べた後で、学校検尿の導入に際して、学校検尿の導入手続き、尿試験紙を用いた尿定性・半定量検査は最も簡便な尿検査法で、陰性が陽性を判断するのに有用とし、「沈渣を詳細に調べることで血尿の由来がわかり、糸

球体上皮細胞の有無で腎障害の程度を評価できる。また、定量検査では尿中のさまざまな蛋白質や電解質濃度を分析し、測定することで病状の重症度を推定でき、診断の参考になる」と解説した。そして、蛋白尿のみ、血尿のみの疾患について解説し、糸球体上皮細胞の障害が蛋白尿の原因となることについてもわかりやすく説明を行った。

五十嵐教授は最後に、早期発見・治療で予後が改善されるIgA腎症と膜性増殖性糸球体腎炎について説明し、「尿は比較的簡単に採れる臨床検査。ぜひ診療に活用してほしい」と述べ、講演を締めくくった。

「新型インフルエンザ」で

第225回ヘルスケア研修会

ハイリスク者を守るため 社会全体での対策が重要



講演の冒頭、岡部信彦センター長(写真)は、主な感染症情報センターの岡部信彦センター長が「新型インフルエンザ(豚由来A/H1N1 swine influenza)」と題した講演を行った。おりしも豚由来の新型インフルエンザが出現、世界的な広がりを見せ、日本でも感染が確認された時期とあつて、参加者の関心は非常に高く、講演後の質疑応答も活発なものとなった。

また、新型に関する間違いやすい用語を取り上げ、「毒性」というのは「強毒性」とは全身感染を起こすウイルスで、弱毒性とは呼吸器など局所感染に留まるもの、「感染力」は「1人から何人に広がるかの度合い」、「伝播力」は「病気の拡がり方」、「病原性」は「病気の重症度」のことであると解説した。

その上で、岡部センター長は、「今回の新型は弱毒性だが伝播性は強い。現時点での致死率はアメリカで0.3%

に上り、季節性の0.05%をかき上る状況だ」と述べた。

また、季節性のワクチンの新型への効果については「あまり期待できない」と考えたほうがよい」とした。

そして、国内の新型患者の臨床症状や治療の経過などを解説し、現段階の対応策として、「インフルエンザ様疾患はできるだけ発熱外来を受診する」、「学校等は、地域単位で休校にする。これは地域での感染拡大を防ぎ、ハイリス

全体での対策の重要性を強調した。

また、岡部センター長は、国内での新型の今後の流行について「罹患率は全人口の25%、受診者は約2千500万人、死亡者は約17万人と想定され、季節性の死亡者数を一桁上回る可能性がある。一時期に多数の患者が出ることを想定し、心して対策に取り組む必要がある」と述べた。

講演後の質疑応答では、新

型ワクチン接種の開始時期と優先順位、秋以降の流行予測、季節性ワクチンの接種病原性が増した時の対策、妊婦へのリスク、職場での事業継続計画などについての質問が相次いだ。

このうち、新型ワクチンについて岡部センター長は「接種が可能になるのは12月以降だろう。接種の優先順位について国民の理解を得ることが求められる」と回答。また、「軽症で済みそうだなと言つて職場の対策が進まない。強毒性の新型に備えるためにも事業継続計画が作成されるべきではないか」との質問には、「今回想像より軽い被害です。安心すべからず、企業は存続を考へ、従業員の健康を守る必要がある。事業継続計画の作成など準備をしておくべき」と回答し、新型対策を続ける必要があることを強調した。

このうち、地域健診で報告

予防医学事業中央会 全国運営会議が開催

した福島、鳥取、宮崎の3支部は、いずれも平成20年度に於いては、国民健康保険以外の健診受診者が減少。その理由として、受診券の発行や申請が遅れたことに加え、特定健診・特定保健指導について住民への周知が不十分であったことなどが指摘された。

また、平成21年度の対応としては、健診日程入りカレンダーの配布、ポスターやリーフレットの作成、事業所を訪ねて健診の説明をする、などの対策が紹介された。

運営会議では、この他、新型インフルエンザに関連して、東京支部の「行動計画」の紹介や、実際に感染拡大の影響を受けた兵庫支部の体験が報告された。

お知らせ

第227回ヘルスケア研修会

乳がん・子宮がん検診

9月30日(水)14:16時
東京・永田町「星陵会館」

第227回ヘルスケア研修会が9月30日(水)14時から16時まで、東京永田町の「星陵会館」で開かれる。

「乳がん・子宮がん検診」新しい流れと問題点をテーマに、本会検査研究センターの長谷川壽彦センター長、本会がん検診断部の坂加奈子部長が講演する。司会は、加藤京子本会保健師。

会場の「星陵会館」は、地下鉄各線「永田町」国会議事堂前「溜池山王」「赤坂見附」駅下車、徒歩10分以内のところ。参加費2千円。定員先着400人。

保健会館 クリニックの 21 顔



甲状腺外来
いのうえ
井上ゆか子 医師

内分泌代謝を専門とする井上ゆか子医師は、総合病院で甲状腺疾患や糖尿病などの治療や研究にあたるか

たわら、2年前から保健会館クリニックで甲状腺外来を担当している。

「当外来は、甲状腺ホルモンの過不足のある方、将来その可能性のある方の診断と治療経過観察を行っています。子育て世代や働き盛り世代の女性が多いというのが特徴です。バセドウ病や橋本病を始めとする甲状腺疾患は、自然に回復するものから長期の管理が必要なものまで、その経過は千差万別です。また、長期にわたる管理が必要な場合でも、きちんとコ

診察では、問診や甲状腺の触診、血液検査などを行いながら、患者さんのお話をじっくり傾聴し、その方の状況や性格に応じた説明を行っています。ご自身病気を正しく理解していただくことが重要となるからです。

特に、間違つた認識や過度の心配をされている方に、対しては、不要な心配を取り除くことを第一に、お話をしています。

井上医師の楽しみはピアノ。「ショパンを弾くのが好き」と語る。

Cardio Ankle Vascular Index

キャビイ

CAVI

検査が

機能アップして使いやすくなりました

さらに心電パッケージを追加することで、心電図検査も可能になります。



〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
● 医療機器専門メーカー **フクダ電子株式会社**

- コンパクトカラー液晶
- 院内システム対応
- R-R検査
- 心電パッケージ追加可能(オプション)

血圧脈波検査装置

VaSera™ VS-1500N

医療機器承認番号: 21800BZX10162000

